

# 中心児報

発行日：2017（平成29）年5月31日

発行：社会福祉法人 中心会

児童養護施設 中心子どもの家

相模原市中央区田名10125

TEL：042-764-7046

URL <http://kodomo.chusinkai.net/>

Email [kodomonoie@chusinkai.jp](mailto:kodomonoie@chusinkai.jp)

発行責任：所長 下鳥 善男



「真心に育つ」 創設者 常岡一郎 揮毫

※ カラー版はホームページをご覧ください。

## 可能性を信じること

所長 下鳥善男

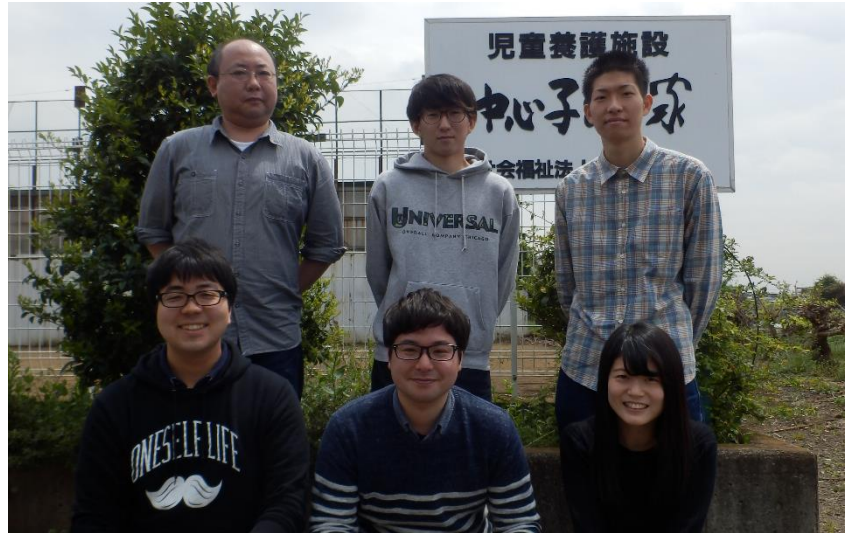
今年度4月より、中心子どもの家の所長という大任を拝命いたしました。5年前に中心会の門を叩かせて頂き、現在、所長としての責任の重さと、子ども達の人生を預かる難しさを痛感しています。

中心会に入職時の5年前は中心子どもの家に配属されていました。その後、相模原南児童ホームの乳児院に3年いたので、中心子どもの家の子供達とは3年間会うことはほとんどありませんでした。3年という時間は子供達が成長するのにとっても長い時間でもあります。中学校に不登校でほとんど登校していなかった子が、立派に就職して巣立っていったりします。また、乳児院からきたばかりで、ほんの2歳だった子が、制服を着て幼稚園バスに乗り登園する姿や、泣きながら幼稚園に通っていた子が、ランドセルを背負って小学校に通う姿を目にすると、子供達が持つ「無限の可能性」を感じる事が多々あります。将来この子供達にはどんな未来が待っているのだろう。幸せな未来であってほしいという願いと、多くの困難を乗り越えてたくましく育ててほしいという期待があります。それを知ってか知らずか、子供達は子供達なりに紆余曲折しながら成長していきます。その様子を、児童養護施設の職員として目の当たりにできることが本当に嬉しく、また「子の可能性を信じて仕事をしていく」ことの重責を改めて感じます。

私達自身もまだまだ成長の途中であり、子供、職員、双方の可能性を信じながら、「中心子どもの家」のみinnで、養育の実践に努めていきたいと思ひます。

## ～新任職員の紹介～

新しい仲間と共に  
今年度も宜しくお願い致します。



上段：富久山、白井、大江 下段：宮下、石黒、桑山

## ○給食課○

### 富久山英樹

今年度より給食課に配属となりました、富久山英樹（ふくやまひでき）です。前職は、保育園でお昼ご飯やおやつの調理をしていました。

将来的には、児童に「食べ物」に興味を持ってもらい、バランスの摂れた食事、安心して食べられる食事、自分に丁度良い量の食事等、児童が食事について考えられるようになってくれればいいなと思っています。よろしくお願いします。

## ○心の家○

### 宮下裕秋

今年度より男子養護係（心の家）の職員となりました、宮下裕秋（みやしたひろあき）です。中心子どもの家では、ボランティアとして大学1年生の頃から活動させていただいていました。ボランティアとして中心子どもの家に関わらせていただき、その中で培ったものを今度は職員として日々の支援の中で活かしていきたいと思っています。どのように活かしていけるかは、まだ模索している最中ですが、子ども達が卒園した後に、何かの時にふと「宮下さんに出会えてよかった」と思ってもらえるように、一日一日努力を重ねていきます。宜しくお願い致します。

### 大江 薫

4月から男子養護係（心の家）の職員となりました、大江薫（おおえかおる）です。大学3年生の夏頃から相模原南児童ホームでボランティアを経て非常勤職員として携わらせていただきました。子ども達のために何ができるのか、どのようにしたらより良い環境を作れるのかを日々考える中で、児童養護の面白さと難しさを知りました。まだまだ分からないことはたくさんありますが、自分の個性を發揮し、子ども達とともに成長していきたいと思っています。明るく元気ががんばっていきたく思いますので、宜しくお願い致します。

## ○大地の家○

### 石黒健介

今年度から男子養護係（大地の家）に配属になりました、石黒健介（いしぐろけんすけ）です。私は大学の授業や実習を通して、子どもの純粹さやどんなことにも興味を持つ姿に魅力を感じたため、子どもと関わる仕事がしたいと思い、児童養護施設に就職しました。

これから職員として、私の長所である明るさを活かし、子どもたちが穏やかに過ごせるよう努めていきたいです。子どもと同じ目線に立ち、自主性を尊重し、成長を支えられるような職員でありたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 桑山朝希

今年度より男子養護係（大地の家）に配属になりました、桑山朝希（くわやまあさき）です。大学在学中に児童養護施設にて実習をしたことや、里親について興味を持ち学んだことから、児童養護施設職員になりたいと考えるようになりました。

私は子どもたちが将来自立をしていくために必要なことを、身に付けることができるように支援をしていくことが目標です。子どもたちと喜びや悲しみを共有し、互いに成長していくことのできる職員を目指します。そのために、子どもたち一人ひとりとの時間を大切にし、安心できる空間を作れるよう、自分ができることをしていきたいと思います。宜しくお願い致します。

## ○花の家○

### 白井大樹

4月から女子養護係（花の家）に配属になりました、白井大樹（しらいひろき）です。児童養護施設の職員になりたいと思い始めたのは、専門学校1年生の時です。夏に児童養護施設の子どもたちとキャンプをおこなったことが大きなきっかけになりました。子ども達と交流を重ねていく中で、児童養護施設職員に興味を持ち、職員として子ども達を支えていきたいと強く思うようになりました。児童養護施設の職員になるという夢を叶えた今、それに満足することなく、大きく成長できるように日々努力していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## ～異動職員の紹介～

### 中島宏和（女子養護係長）

4月1日より相模原南児童ホームから中心子どもの家に異動してきた、中島宏和（なかじまひろかず）です。

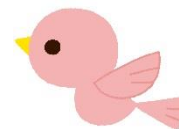
私の趣味は走ること（ランニング）です。ランニングはコツコツ続けていれば、故障しない限りタイムが上がっていきます。それは達成感を味わうことや自信に繋がるため、子ども達と共に活動できればと思っています。

1日でも早く新たな職場に慣れ、これまで中心子どもの家を支えてきた職員さんのお力になれるよう頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。





中心子どもの家・田名地区社協共催  
親子サロン「おもちゃぼこ」



中心子どもの家では、月1～2回程度、未就園児と保護者の方を対象に、親子サロンを開催しています。例年のプログラムに加え、今年度は新たな内容も予定しています。お気軽にご参加下さい。

< 29年度 上半期予定表 >

月	日	曜日	内 容
5	11	木	リズム ※①おもちゃの病院
	24	水	「ゲーチョコキパー」(人形劇)
6	8	木	リズム
	28	水	英語で遊ぼう
7	13	木	リズム ※①おもちゃの病院 ※②保健師さん・栄養士さん来園

①おもちゃの病院とは

- ・おもちゃドクターが無料で治療(修理)をしてくれます。(部品代等有料の場合があります。)
- ・件数把握のため、事前にご連絡下さい。

②保健師さん・栄養士さん来園について

- ・保健師さん、栄養士さんへご心配ごとを相談できる日です。

## 施設行事のお知らせ

“バザー品を募集します”  
今年度もバザーを開催致します。バザー品にご協力いただける方は、ご連絡下さい。(9月末まで募集致します。)

・10月29日(日): 秋祭り

中心子どもの家で一番大きな行事となります。模擬店や出し物等、子ども達が主体的に取り組み、秋祭りを作り上げていきますので、ぜひお越し下さい。

・12月10日(日): もちつき

日頃よりご協力頂いている皆様へ、1年の感謝の気持ちを込めて、おもちゃを提供させていただきます。昨年度は感染症流行につき実施ができませんでしたが、今年度は、昨年度の分も思いを込めて実施できればと思っております。近くなりましたら、あらためてご案内致します。

## ご寄附お礼

【平成29年3月4日～4月30日】

スズケングループ労働組合連合会、神奈川県協働募金会、ザシティ相模大野店様、近代化学株式会社様、(株)ファンケル化粧品様、(株)城栄産業チャンピオン田名様、町田みのり高等部様、根本幸次郎様、コストコ多摩境店様、棟方道明様、コンパル橋本様、(株)クレヨンハウス morimoto プロジェクト様、佐藤善彦様、氣まぐれ會會長 稲葉栄一様、相模友の会様、(有)オーク 奥平様、近藤康子様、WFW Pさがみはら 金澤静子様、プレム・ラワット日本事務局合同会社文屋 木下豊様、三ヶ木郁様、高木康男様、匿名様、グッドベア(株)高橋義幸様、

熱いご支援ありがとうございました。

※前号に記載漏れがありましたので、今号に入れさせて頂きました。申し訳ございません。